

2024年5月1日

中東関係者各位

九門康之

「中東なう」5月

### 1. トルコ、エルドアン大統領が外交活動を活発化

トルコが独自の動きをしている。4月23日、トルコのエルドアン大統領がイラクを訪問した。トルコとイラクは両国にまたがる地域に居住するクルド族対応をめぐる意見が対立していた。今回の訪問中、経済協力など3件の合意文書と23件のMOUに調印し、二国間関係が改善したことを印象付けた。エルドアン大統領はイラク内クルド自治区の首都エルビルも訪問した。一連の動きが実現した背景には、3月にイラク国家安全保障評議会（Iraq National Security Council）がPKKのイラク領内での活動を禁止したことが大きい。

トルコはエジプトとの関係改善も図っている。今年2月、エルドアン大統領はカイロを訪問しエルシシ大統領と会談した。トルコとエジプトの関係は悪かった。エルシシ大統領が2014年のクーデターでムスリム同胞団を追放し、トルコはイスラーム主義支援の立場からかれらを保護する立場をとった。現在、エジプト・トルコ両国の外務大臣レベルで調整が行われており、近くエルシシ大統領がアンカラを訪問すると思われる。

トルコの狙いは、イラク、エジプトともエネルギー確保と通商関係の拡大である。イラクからはパイプラインを経由した原油輸入、エジプトとは東地中海でのLNG開発参加を目論んでいる。トルコが、この動きを取ることができた背景には、中東での米国のプレゼンス低下がある。米国の影響力が強いときは、地域国間のことであっても米国に一定の配慮を示す必要があった。しかし、2021年以降、米国は脱中東の動きをとっており、中東諸国は自由に行動している。最近のトルコの動きもその流れの一つといえる。

### 2. エジプト、ガザ難民の流入を警戒

エジプトは、イスラエル・ハマスの衝突でガザ難民が自国に流入すること警戒している。ガザに隣接するシナイ半島では、2013年「イスラーム国」の分州を名乗るグループが反政府テロを行い、エジプト政府は軍隊を動員して活動を封じ込めた経緯がある。エジプト政府は、ガザ難民のシナイ半島流入がきっかけとなり同様の事態が発生し、国内情勢が不安定になることを懸念している。エルシシ大統領は「パレスチナ人（ガザ住民）の立退き（displacement）に反対する」との発言を繰り返している。

### 3. その他のニュース

●エジプト、新首都を5万人の都市に ●トルコ、地方選挙で野党勢力拡大、イスタンブール、アンカラ、イズミール他 ●イスラエル、ダマスカスのイラン領事館を攻撃 ●イラン、大

量のドローンでイスラエルに報復●イスラエル、イランに再報復●イスラエル・イラン、報復の連鎖拡大は回避●エジプト、外貨準備 400 億ドルに回復●イラク、クルド自治区バルザーニ大統領がイラク政府に給与問題解決で謝意●サウジアラビア、NEOM に国際空港建設●トルコ、湾岸諸国銀行トルコ現地法人の損失拡大●イラク、スーダーニ首相が米国訪問●ドバイ、大雨で交通機関混乱●イラク、ヤジディ新年（4 月 14 日）に祝意●モロッコ、高速鉄道延伸アガディールまで●ハマス、ドーハ事務所を移転か●シリア、米国とのコンタクト実施している。アサド大統領談●エジプト、来年度予算赤字拡大の見込み●

以 上